

リセ・アンテルナショナル・サンジェルマン・アン・レイ

リセ・アンテルナショナル・サン・ジェルマン・アン・レイは、「国際セクション」のみで構成されるフランス公立の教育機関であり、フランス国民教育省のフランス国際バカロレアの取得への準備を行っている。「ヨーロッパセクション」あるいは「オリエンタルセクション」と異なる点は、フランス国際バカロレアの取得の準備の他、「国際セクション」の教員は、パートナー国の言語の母語話者、かつそのパートナー国の教員として養成された者であるという点があげられる。

本校は、幼稚園、小学校、中学及び高校より編成される。

本校では、サンジェルマン・アン・レイ市、ルベック市の公立小学校、公立中学校と提携し、その提携校の中にいくつかの「国際セクション」の設置をしているが、日本セクションには提携校がない。

2018 年より、本校はユネスコのアソシエイト校として認定されている。ユネスコ・アソシエイト校としてのプロジェクトとして、積極的な活動を行っている。

また国際交流として、海外との姉妹校協定や交換留学プログラムを実施している。

フランス語集中クラス (FS クラス)

海外から転校してきたばかりのフランス語の習熟度が低い生徒のために小学校 2 年生(CE1)から高校 1 年生(2nde)まで、フランス語集中クラス(Français Spécial =FS クラス)が設けられている。このクラスではフランス語導入教育を専門とする教師が特別なカリキュラムを組み、教育を行っている。ほとんどの児童・生徒が 1 年または 2 年で普通クラスに編入するレベルに達している。

エクステルネ制度

幼稚園と小学校には「エクステルネ」制度があり、フランス国民教育省の教育プログラムを実施している他のフランスの学校に通いながら、国際セクションの授業だけをリセ・アンテルナショナルに受けに来ることができる。日本セクションの幼稚園部の生徒は、全員エクステルネ生となっている。

BFI (Bac Français International) 2024 年より実施

フランスの高校 3 年生(Terminale)の学年末には、バカロレアと呼ばれる国家試験が行われ、これに合格すると大学入学資格が得られる。リセ・アンテルナショナルの生徒は全員、フランス国際バカロレア BFI (Bac Français International)を受験する。

BFI では、

- 通常バカロレアの第一外国語の代わりに、当該国（日本セクションは日本語）の言語文化の筆記・口頭試験を受験する。
- 通常バカロレアの歴史地理の代わりに、当該国（日本セクションは日本）の歴史地理の内容を加味した問題の筆記・口頭試験を受験する。
- 当該国の言語（日本セクションは日本語）で、「世界の知識」という領域横断的な科目の口頭試験を受験する。
- 上記 3 科目の試験問題作成と採点に当該国の教育省（日本セクションでは文部科学省）が参加・協力している。

BFI は 2024 年のバカロレアからフランス国民教育省が導入した新しい国際バカロレアである。現在 18 か国がフランス国民教育省と BFI の協定を結ぶべく、現在フランス国民教育省とパートナー国との間で準備が進んでいる。

入学条件

本校への入学は、他の一般的な公立校とは異なり、生徒の居住地の地域とは別の条件で選考が行われている。以下の 14 セクションのパートナー国出身でフランスに居住する子供、パートナー国とフランス共和国との二重国籍である子供、パートナー国で一定期間教育を受けてきたフランス人の子供など、つまりそのセクションの言語において十分な能力があることが入学の条件である。

本校を構成する国際セクション：

ドイツセクション、イタリアセクション、アメリカセクション、日本セクション、イギリスセクション、オランダセクション、デンマーク・ノルウェーセクション、ポルトガルセクション、スペインセクション、スウェーデンセクション、ポーランドセクション、ロシアセクション、中国セクション

「国際セクション」への入学許可は、各国セクションが行う独自の入学選考試験の結果に基づき、学校長が決定し、イヴリーヌ県教育監査官に提出し通知される。

入学許可の特殊条件

幼稚園

日本セクションの幼稚園では週に 2 回国際セクションの授業のみを受けるエクステルネ生を募集している。エクステルネ生は、国民教育省の教育プログラムに沿った教育を行っている公立または私立の幼稚園に登録しなければならない。なお、幼稚園への入学後、そのまま自動的に小学校に進学できるということにはならない。

小学校

入学許可は、小学校（エコール・エレメンタール）の年限の範囲内で出される。また、フランス側の授業もリセ・アンテルナショナルのキャンパスで受けるフルタイム生、または週 2 回の国際セクションの授業のみを受けるエクステルネ生のいずれかとして入学を許可される。エクステルネ生は、国民教育省の教育プログラムに沿った教育を行っている公立または私立の小学校に登録しなければならない。自動的にリセ・アンテルナショナル中学校に進学できるということにはならない。

中学校

入学許可は、中学校（コレッジ）の年限の範囲内で出される。自動的に高校に進学できるということにはならない。

ほかに入学許可の必要条件として、本校への通学に支障がない距離に居住するという条件を満たす必要がある。

入学選考

入学選考は、受験時に提出される成績表等の書類の審査の他、試験によって行われている。

書類審査では、それまで在籍していた学校の成績、リセ・アンテルナショナルでのバイリンガル教育に対するモチベーションなどの審査が行われる。

幼稚園、小学校の入学選考試験は、子供の年齢に応じて、口頭試験または筆記試験、あるいはその両方が行われる。中学校、高校の入学選考試験は、口頭試験と筆記試験の両方で構成されてい

る。

バイリンガル教育に対する適正も、書類および試験によって審査される。

入学手続き

入学は、新学期 9 月（願書締め切り 1 月 23 日）からの入学を原則とする。願書は、日本セクションのインターネットサイトからダウンロードできる。

いかなる場合も、願書記入は正確かつ明瞭でなければならない。法的親権者の署名がないもの、あるいは内容の不明瞭な願書は選考の対象から外される。

戸籍照会書類（氏名、生年月日、出生地、性別、国籍記入）はアルファベット大文字で正確に記入し、かつ根拠となる資料（戸籍謄本、Livret de Famille など）に一致したものでなくてはならない。ハイフン（－）がある場合は忘れずに、又複合の氏名の場合は正確な順序でかつ前後の一字分の間隔をとって記入すること。

母語とは入学希望者が家庭内で日常に使用している言葉のことである。このほかに家庭内で使用する言葉があれば「その他の常用言語 autres langues familiales 」の欄に記入する。

在籍校で使用されている言語 langue actuelle d'enseignement は、出願時に入学希望者の在籍する教育機関で主に使われている言語とする。例外として、厳密な意味でのバイリンガル教育機関（1 つの言語使用率が最低 40%）在籍者は、2 つの言語を記入する。

本校では外国語教育が能力別クラス編成でおこなわれているので、外国語（古典語を含む）langues étudiées 欄は注意して記入すること。（中学・高校のみ）

外国語が、母語レベルで学習された場合（例えばスペインのリセ・フランセ校でスペイン人とともにスペイン語を学習した）には、バイリンガル水準評価欄に、受講年数と 1 週間の受講時間の合計も併記すること。

在籍校で使用される言語でも家庭における使用言語でもない言語についても、バイリンガルである入学希望者の場合はその旨を欄外に記入すること。

本校ではセクションの国語に加え、生徒数が定員を満たせば以下の外国語を選択教科とする。

- 6ème （中学校 1 年）「第一外国語」として英語
- 5ème （中学校 2 年）ラテン語を選択可 あるいは、「第二外国語」としてドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、イタリア語、のいずれかを選択。ラテン語を前学年から始めた生徒は、ラテン語を「第二外国語」として継続しつついずれかの第二外国語を選択する。
- 2nde （高校 1 年）現地校の諸事情により、セクション言語以外に「第一外国語」と「第二外国語」を選択していない生徒に限って、スペイン語もしくはイタリア語を選択することができる。

入学するセクションと学年

願書記入の際に不明の点があれば、その旨記入すること。入学する学年（*）は入学申請の時点で就学中、あるいは、ちょうど修了した学年のすぐ次の学年とする。

進級が自動的に行われない学年に対しては、進級許可が必要となる。この点が不確かな場合、該当欄には記入しないこと。

フランス語集中クラス(Français Spécial =FS クラス)は、これまでフランス語圏で教育を受け

たことのない入学希望者にとって原則として必須である。例外的なケースについては語学試験を行う。なお、かつてフランス語圏の教育機関に在籍していた或いはフランス語による通信教育を受けていた入学希望者については、その詳細を記した証明書を添付のこと。

在籍校

フランス国外からの受験の場合、できれば願書登録時の在籍校についての資料（入学案内資料等）を添えること。

家族

留意して記入のこと。後見人、保証人については記載不要の欄には線を引く。フランスの住所としては、郵便物の転送が可能な場合に限り一時的に保証人又は会社の住所を記入しても良い。

兄弟姉妹

一家庭から二人以上の子供が入学を希望する場合、兄弟姉妹を必ず記入すること。その場合には各々別々に願書を作成すること。なお、入学許可は個人別に判断されるので、兄弟姉妹が共に入学を許可されるという保証はない。

（＊）二国間の就学年度の照応についてはセクションに問い合わせること。但し最終決定権はリセにあるものとする。

必要書類

- 成績表
前学年度年及び現在の学年の合計 2 学年間の成績表の提出が義務づけられている。現在の学年の成績表については、出願時点で発行されているものを送付すること。
- 戸籍謄本 または Livret de Famille または Acte de Naissance のコピー
氏名、生年月日、出生地、国籍、親子関係を記載したものを提出すること。
- 語学修得証明書
セクションの言語又は他の言語の修得水準又は資格を示す書類を添付しても良い。
- 応募動機を記した手紙
この手紙の提出は極めて重要である。応募の動機となる個人的又家庭的な事情、本校入学を希望する理由、今後の教育方針、特に語学学習及び希望する高等教育の計画について詳細に記すこと。
使用言語はフランス語、英語のいずれかを使用すること。提出先はリセ・アンテルナショナル学校長あるいは初等部(幼稚園・小学校)校長宛て。
- その他の書類
現在在籍中の教育機関についての書類、紹介状、卒業証書、その他の資格証明書、スポーツ、演劇、音楽(楽器)、課外活動等について特筆することがあれば記載し提出することができる。
- その他、健康に関する証明書類、保護者が本校の卒業生である、等。

通常は入学希望者が定員を大幅に超えるため、本校では書類審査を厳密に行っている。書類の記入は正確を期すこと。また選考に役立つと思われることがあれば随時提出に加えてもよい。

リセ・アンテルナショナル 国際日本セクション

設立：1993 年

全生徒数：206 人（158 家庭）2025 年 10 月現在

学年：幼稚園年中組（MS）から高校 3 年生まで

セクション長：村中雅子

教師数：セクション長を含め全 8 名

2009 年 4 月、文部科学省より日本語補習授業校と認められ、日本政府からの助成を受けている。

日本セクションの運営は在学生保護者により行われており、保護者の中から理事を選出して運営母体を築いている。教材購入や教師報酬は、保護者から徴収する学費、及び国からの助成金により賄われている。

教育目標

- 母語レベルの日本語能力を習得し、保持する。
- 日本文化・社会に関しての理解と知識を深める。
- 多文化・多言語に関する寛容性を育て、複言語・複文化能力を育成する。

教育内容

授業は、日本の文部科学省の学習指導要領を参照すると同時に、フランスの教育に合わせた独自の教育プログラムで行っている。教師は全員日本語母語話者であり、原則として日本の教員免許を取得している。

授業構成

日本語で行われる授業は以下の通りである。

	日本語・文学	歴史・地理	世界の知識
幼稚園/小学校	6時間/週		
中学校	4時間/週	2時間/週	
高校1年	6時間/週	2時間/週	
高校2年・3年	4時間/週	2時間/週	2時間/週

季節に応じた教育内容・日本的な催し

正月、まめまき、七夕など、四季とりどりの日本的な行事や日本の歌なども授業に取り入れ、楽しみながら授業が行われるような工夫がなされている。